

東京平和運動センター主催「平和のバトンをつなごう」企画第7弾

日本のカルト「靖國神社」を知ろう！

国家神道とは何だ？靖國神社が戦争に果たした役割とは？靖國神社・遊就館の見学・学習会

日時：2025年9月27日（土）12時50分から

（靖國神社社号標前にて12時30分から受付開始）

会場：靖國神社・遊就館

- プログラム：
- 1) 12:50～開会あいさつ・事務連絡
 - 2) 12:55～フィールドワーク①外苑から内苑をめぐる
 - 3) 14:30～フィールドワーク②「遊就館」見学
 - 4) 16:00～講師への質疑応答・感想シェア
 - 5) 16:15～まとめと閉会挨拶
- 16:30 解散

☆募集人員：40名程度

☆参加費：無料（遊就館の入場料は平和センターが負担します）

☆17時から、参加者交流会も検討中です。（別途参加費をいただきます）

学習会会場案内 裏面に地図があります

☆関連イベントのお知らせ

8月15日金曜日12時から（受付開始11時30分）千鳥ヶ淵戦没者墓苑にて平和フォーラム
主催「戦争犠牲者追悼、平和を誓う8.15集会」が行われます。靖國神社に比べて、報道が
少ない千鳥ヶ淵戦没者墓苑を知る機会にもなります。どなたでも参加できるので、多くの方
の参加を学習会と合わせて呼びかけます。

主催者アピール

今年は、敗戦後80年の節目の年であるにもかかわらず、いたずらに戦争の危機を煽る政治家の妄言は後を絶ちません。私たちは、今一度かつての日本が引き起こし、原爆投下・ソ連参戦まで戦争を引き延ばしたために内外の多くの人々を犠牲にしたことを見忘れてはなりません。人々を戦争に駆り立て、犠牲となることを強要できたのは「皇民化教育」にあり、その根底には、靖國神社を頂点とする「国家神道」がありました。まさに狂信的な「カルト」が、戦争指導部と人々を支配したことが、沖縄戦における住民虐殺や集団自決、多くの若者たちを犠牲にした特攻作戦などの悲劇を生んだと言えます。

世界が、「軍拡」「戦争やむなし」に向かい一つある今こそ、歴史を振り返り、過ちを犯さないために靖國神社を学ぶ機会としたいと考えます。多くの方々、とりわけ青年層の参加をお待ちします。

都営新宿線九段下駅下車徒歩3分靖国神社前集合



地下鉄東西線・都営新宿線九段下駅下車、1番出口を出て、坂を上がり信号を渡る。社号標前で、受付をします。



講師紹介 宮澤弘道さん



(小学校教員・東京教組多摩島嶼支部委員長)

東京都生まれ。公立小学校教員。「道徳の教科化を考える会」代表。『季刊福祉労働』編集委員（現代書館発行）。2015年2月、「道徳の教科化を考える会」を立ち上げ、学習会を主催しながらその問題点を整理中。

組合の研修会等で東京大空襲や靖國神社・遊就館のフィールドワークの講師を務める。

主催：東京平和運動センター

問い合わせ・参加申し込み：TEL.fax 03-5443-4110 東京平和運動センターまで

または、tokyo-peace.net 東京平和運動センターホームページ「お問い合わせホーム」より必要事項を明記してお申し込みください。9月5日（金）締め切り

*平和センターの構成組織・団体の方は、各構成組織・団体からお申し込みください。